令和７年８月 13 日

# 脳卒中領域専門技能向上コースについて

## Ⅰ．シラバス

### Ⅰ－１．講習会の目的

脳卒中下肢装具領域に関する高度な知識・技術を用いて、急性期・回復期および生活期等の分野における臨床課題を解決でき、継続的に社会へ還元できる義肢装具士の育成を目的とする。

### Ⅰ－２．到達目標

脳卒中片麻痺者に対する装具療法においては、急性期・回復期および生活期等のリハビリテーションから在宅支援まで、使用状況に応じた専門的な知識と対応が求められる。特に下肢機能障害により、日常生活を送る上で歩行を含む動作が困難な片麻痺者に対して提供する下肢装具等を提供するうえで，**臨床推論に基づいた装具設計と提案**ができる専門知識・技術の習得を目指す。

具体的には以下の項目を到達目標とする。

1)　歩行動作等の問題点に気づくことが出来る.
2)　歩行動作等の問題の原因について仮説を立て推論することが出来る.
3)　歩行動作等の原因を明らかにするため，自身で検査・測定することが出来る.
4)　対象者の評価結果に応じて，補装具等に必要な機能を提案することが出来る.
5)　対象者の社会的背景を考慮して装具デザインの立案をすることが出来る.
6)　装具の良し悪しを客観的に判断することが出来る.
7)　支給や修理に係る医療及び福祉制度について他者に説明することが出来る.
8)　自身の経験した症例を他者と共有することが出来る.
9)　自身が得た知識や技術を他者に情報共有することが出来る.

### Ⅰ－３．認定評価

①　指定講習の受講
②　必要単位の取得
③　実技講習の受講
④　専門技能向上コース認定試験の合格

## Ⅱ．指定講習の内容

下表の指定講習をｅラーニングまたは対面にて受講

| 講義内容 | | 講師 | 講義<br>予定時間 | 形式 | 最終<br>更新 |
|---|---|---|---|---|---|
| 講義 1 | 臨床推論概論 | 春名 弘一　先生 | 45 分 | オンデマンド | 2024 年 |
| 講義 2 | 正常動作 | 昆 恵介　先生 | 60 分 | | 2024 年 |
| 講義 3 | 脳卒中の医学的知識<br>（脳画像，予後予測） | 勝谷 将史　先生 | 60 分 | | 2024 年 |
| 講義 4 | 脳卒中の医学的知識<br>（脳卒中総論） | 勝谷 将史　先生 | 60 分 | | 2024 年 |
| 講義 5 | 脳卒中装具療法における<br>運動学習理論 | 髙橋 忠志　先生 | 60 分 | | 2024 年 |
| 講義 6 | 検査・測定 | 松田 涼　先生 | 90 分 | | 2024 年 |
| 講義 7 | ICF に基づいた情報収集 | 川場 康智　先生 | 45 分 | | 2024 年 |
| 講義 8 | 症候･障害分析演習 1 | 昆 恵介　先生 | 60 分 | | 2024 年 |
| 講義 9 | 症候･障害分析演習 2 | 昆 恵介　先生 | 60 分 | | 2024 年 |
| 講義 10 | 装具の知識 | 村山 稔　先生 | 80 分 | | 2024 年 |
| 講義 11 | 装具の支給と修理に関わる医療<br>及び福祉制度 | 石原 栄治　先生，<br>跡部 武浩　先生 | 35 分 | | 2024 年 |
| 講義 12 | 多職種連携および地域資源 | 鈴木 啓太　先生 | 45 分 | | 2024 年 |
| 講義 13 | 脳卒中領域の症例報告の書き方 | 跡部 武浩　先生 | 10 分 | | 2024 年 |
| 講義 14 | 脳卒中関連の学術情報講演<br>（毎年・内容が変更）*1 | 受講者 | 60 分 | 対面 | 2024 年 |
| 講義 15 | 症例発表と討議*1 | 受講者 | 30 分 | 対面 | 2024 年 |

＊1：脳卒中領域専門技能向上コース委員会が指定するセミナー等への受講により単位認定

## Ⅲ．実技講習　認定要件の提案

主たるテーマ　臨床推論能力の向上または特定技術の向上

目的：

・症例に対して適切な評価を実施し，かつ臨床推論による思考によって適切な義肢装具のデザインを提案できる。

・対象者に対する装具製作において，先端的な製作技術を習得する.

内容：

・実技・演習課題：想定症例を提示して臨床推論を行い，討議する.

・座学の履修が前提

・オンデマンド事前講習：講義 1～13 を履修済みであること

・対面事前講習：講義 2

・実技・演習時間：3～4 時間

・評価項目：達成目標 1～6 が達成できているか否かルーブリック評価によって実施。

その他：

・学会が企画提供する脳卒中関連の研修または実技セミナーに受講すること.

・研修委員会企画の実技セミナー

例：プリプレグカーボン装具の製作方法など

・脳卒中 WG が主体的に実施する研修セミナーへの参加

例（午前①：講義 14「脳卒中関連の学術情報講演」，午前②症例報告会，午後：実技研修）

## Ⅳ　専門技能向上ポイントの取得

専門技能向上ポイントは，下記３つの分野の合計 45 ポイントの取得を要件とする

学術ポイント（15 ポイント）

教育ポイント（15 ポイント）

臨床ポイント（15 ポイント）

・3 分野において各 15 ポイント取得は必須

・共通ポイントは 3 分野すべてに充当できるポイントとして認める

下記の例の取得では認めない。

学術ポイント 10 ポイント

教育ポイント 30 ポイント

臨床ポイント 5 ポイント

合計 45 ポイント

ポイント取得の詳細

Ⅳ－１　学術ポイント

〇学会参加

| 要件 | | ポイント |
|---|---|---|
| 学会参加 | **指定学会･研究会**<br>JAPO 学会，JSPO 学会，<br>日本支援工学理学療法学会（JPTSAT），CORABOSS | 2 ポイント |
| | **認定学会･研究会**<br>リハビリテーション医学会，日本整形外科学会，<br>日本理学療法士学術大会（各分科会），日本作業療法士学術大会，日本人間工学会，バイオメカニズム学会<br>日本脳卒中学会，日本脳神経外科学会，訪問リハ学会 | 1 ポイント |
| 講習会受講 | 義肢装具士協会主催<br>全国研修会，ブロック研修会 | 2 ポイント |
| 学会発表 | **指定学会･研究会**<br>JAPO 学会，JSPO 学会，JPTSAT 学会，CORABOSS<br>筆頭演者のみ | 3 ポイント |
| | **認定学会･研究会**<br>リハビリテーション医学会，日本整形外科学会，<br>日本理学療法士学術大会（各分科会），日本作業療法士学術大会，日本人間工学会，バイオメカニズム学会<br>日本脳卒中学会，日本脳神経外科学会，訪問リハ学会 | 2 ポイント |

Ⅳ－２　教育ポイント

| 要件 | | ポイント |
|---|---|---|
| 講師 | 脳卒中に関係する内容：学会・研究会・研修セミナー等の講演<br>（注意：指定学会に限らず認定） | 4 ポイント |
| 論文 | **指定学会･研究会**（JSPO,JAPO, JPTSAT, CORABOSS, ）<br>著書（筆頭著者）<br>著書（共著者）<br>他の論文（データベース記載の雑誌）※論文については，筆頭著者のみ認める | 5 ポイント<br>6 ポイント<br>3 ポイント<br>4 ポイント |
| 実習指導 | 4 週間以上の実習指導（1 回あたり）<br>（養成校 2 校以上，5 年間で最大 3 回まで認める） | 3 ポイント |
| 大学院修了 | 前期課程修了（修士課程）<br>後期課程修了（博士課程） | 3 ポイント<br>6 ポイント |
| 他団体講師 | WG が認める講演<br>市民公開講座（40 分以上）<br>企業向け 従業員教育向けの講演等<br>（条件：該当する専門技能向上領域の講義および講演内容） | 2 ポイント |

Ⅳ－３　臨床ポイント

| 要件 | | ポイント |
|---|---|---|
| 症例報告<br>査読付き<br>（必須） | JAPO　査読付き症例報告<br>条件：該当する専門技能向上領域の論文 | 5 ポイント |
| 症例報告<br>レポート | 最大 10 症例 | 1 症例<br>1 ポイント |
| 資格取得 | 脳卒中領域専門技能向上コース　認定資格<br>・福祉用具プランナー<br>・日本義肢装具学会認定士<br>・ケアマネジャー<br>・脳卒中療養相談士（脳卒中相談窓口多職種講習会）<br>・認定理学療法士（脳卒中，運動器，補装具）<br>・専門理学療法士（支援工学理学療法，運動器理学療法）<br>・相談支援専門員 | 2 ポイント |
| 論文執筆 | 5 | 5 ポイント |

Ⅳ－４　共通ポイント

| 要件 | | ポイント |
|---|---|---|
| 学会発表 | | 3 ポイント |
| 論文執筆 | 筆頭著者<br>条件：３つの領域における論文執筆<br>論文査読 | 5 ポイントから<br>6 ポイント<br>3 ポイントから<br>1 ポイント |
| コース認定<br>社会貢献 | 専門領域の指定する社会貢献活動 | 5 ポイント<br>3 ポイント |
| 教育機関 | 養成校での専門技能向上コース領域の科目担当 | 5 ポイント |
| 一般プログラム修了 | 一般プログラム，臨床コース，研究コースの受講修了者<br>経過措置を検討 | 5 ポイント |
| 共通ポイントの注意事項<br>・3 分野のいずれの領域にも充当可能な共通ポイント（通算 5 ポイント）として認める | | |

脳卒中領域専門技能向上コース　認定資格

- ✧　福祉用具プランナー（認定資格２P）：資料３参照
- ✧　日本義肢装具学会認定士
- ✧　ケアマネジャー
- ✧　脳卒中療養相談士（脳卒中相談窓口多職種講習会）
- ✧　認定理学療法士（脳卒中，運動器，補装具）
- ✧　専門理学療法士（支援工学理学療法，運動器理学療法）

**Ⅳ－３．WG 提案学会（*P は各 WG 共通のポイントとする）：**

・学術大会参加（2P）・一般演題発表演者（3P）・講演講師（4P）
・学術誌掲載原著（5P）・原著以外（3P）
・セミナー・研修会参加（2P）

○一般社団法人日本義肢装具学会（JSPO）：
・日本義肢装具学会学術大会（毎年開催）
・日本義肢装具学会誌論文掲載

○公益社団法人日本義肢装具士協会（JAPO）：
・日本義肢装具協会学術大会（毎年開催）
・PO アカデミージャーナル論文掲載

○日本支援工学理学療法学会（JPTSAT）：
・COEABOSS　（毎年開催）

○市中在住脳卒中者への装具ボツリヌス併用運動療法研究会（CORABOSST）：
・日本支援工学理学療法学会学術大会（毎年開催）
・日本支援工学理学療法学会誌論文掲載

●研修会
・日本義肢装具士協会主催研修会（脳卒中関連）

## 脳卒中領域における関連資格

○「福祉用具プランナー」：
「福祉用具プランナー」は、福祉用具を必要とする高齢者や障がい者に対して、必要な福祉用具の選定を援助、適切な使用計画を作成、利用の支援、および適用状況をモニター・評価まで行うことができる専門家として公益財団法人テクノエイド協会が提唱したもの。現在、福祉用具の選定相談、利用指導などの業務をされている方などに、福祉用具に関する知識・技術をより確かなものにするために、福祉用具プランナー認定講習として実施している。
福祉用具関連業務に従事している又は従事した経験のある義肢装具士は受講資格を満たしている。実施機関が定める期間内に福祉用具プランナー認定講習を履修する。

・認定団体：公益財団法人テクノエイド協会
・取得方法：指定期間内に下記講習会を履修することで取得できる。
・福祉用具プランナー認定講習
（総履修時間：100.5 時間）
（座学）48.0 時間・e ラーニング
（実技・演習・認定試験）52.5 時間・集合講習
・URL：　https://www6.techno-aids.or.jp/html/planner.html

○「日本義肢装具学会認定士」
日本義肢装具学会が認定するもので，申請時に義肢装具士または理学療法士免許を保持し，取得後 3 年以上い経過している者で，かつ 2 年以上の会員歴を有していると受験資格を得られる.
試験に合格し，症例報告などの構成要件を満たすと認定されるものである.

・認定団体：一般社団法人日本義肢装具学会
・取得方法：試験に合格し以下の要件を満たすことで取得できる。
・症例報告を 5 症例提出する
・試験に合格する.
・URL：　https://jspo.jp/sosiki/nintei2023-3.pdf

○「ケアマネジャー」:
ケアマネジャー（介護支援専門員）は、介護を必要とする方が介護保険サービスを受けられるように、ケアプラン（サービス計画書）の作成やサービス事業者との調整を行う、介護保険に関するスペシャリストです。主な職場は、自宅介護を受ける人のための介護サービスを展開している居宅介護支援事業所や、特別養護老人ホームなどの施設、自治体の介護相談の窓口となる地域包括支援センターなどです。また、介護用具のレンタル事業を展開している民間企業に勤める場合もあります。
ケアマネジャー（介護支援専門員）になるためには、介護支援専門員実務研修受講試験に合格する必要があります。試験の受験資格は、指定業務を 5 年以上かつ 900 日以上経験することで得られます。試験に合格した後、研修を受講して修了し、ケアマネジャーとして登録され資格証の交付がなされると、ケアマネジャーとして勤務可能です。

・認定団体：厚生労働省
・取得方法： 国家試験合格で取得できる。
・URL：　https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/0000114687.pdf

○「脳卒中療養相談士」:
脳卒中患者の相談支援を行う「脳卒中相談窓口」の構成員になりうる資格を持つ医療従事者（相談支援に専従する事務職員を含む）が毎年の STROKE において、日本脳卒中学会が主催する脳卒中相談窓口多職種講習会を受講し、その後、オンラインテストに合格し、「脳卒中相談窓口多職種講習会修了証」を保有している者を脳卒中療養相談士とします。
・認定団体：日本脳卒中学会
・取得方法： 「脳卒中相談窓口多職種講習会」を受講し、オンラインテストに合格する
・URL：　https://www.congre.co.jp/stroke2024/tasyokusyu/index.html

○「認定理学療法士・専門理学療法士」:
認定理学療法士は、臨床現場での専門性を高めることを目的としています。特定の分野の知識や技術を深め、患者へのより質の高いサービスを提供することを目指します。
専門理学療法士は、認定理学療法士を取得した者を対象とし、さらに高度な専門性を追求する資格です。学術的な研究能力を向上させ、理学療法の学術的な発展に貢献することを目指します。
いずれも公益社団法人理学療法学会が認定するものです.

・認定団体：公益社団法人理学療法学会
・取得方法：規定の単位を修得し，試験に合格すること.
・URL：　https://www.japanpt.or.jp/pt/lifelonglearning/new/certif-specialized/

〇相談支援専門員

障害児・障害者の意向を踏まえて、自立した日常生活や社会生活の実現のため、支援・中立・公平な立場から障害福祉サービス利用のための支援などを行います。具体的には、生活全般にかかわる相談・情報提供やサービスなど利用計画の作成、モニタリング、関係機関との連絡・調整などの業務を担います。相談支援専門員は、指定特定相談支援事業所、指定児童相談支援事業所、指定一般相談支援事業所で、１人以上配置しなければならないことになっています。
・認定団体：相談支援専門員協会
・取得方法：実務経験が３年＋相談支援従事者初任者研修修了

https://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/fukushiworkguide/jobguidejobtype/jobguide_job18.html